



2023年10月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年3月10日

上場会社名 くら寿司株式会社
 コード番号 2695 URL <https://www.kurasushi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理本部長
 四半期報告書提出予定日 2023年3月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 田中 邦彦
 (氏名) 津田 京一
 TEL 072-493-6189

(百万円未満切捨て)

1. 2023年10月期第1四半期の連結業績(2022年11月1日～2023年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年10月期第1四半期	51,292	10.4	671		742		624	
2022年10月期第1四半期	46,452	19.5	687	22.4	2,656	189.8	1,708	190.4

(注) 包括利益 2023年10月期第1四半期 972百万円 (%) 2022年10月期第1四半期 2,238百万円 (601.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年10月期第1四半期	15.70	
2022年10月期第1四半期	43.07	43.05

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年10月期第1四半期	109,307	57,241	44.5
2022年10月期	109,621	58,967	45.8

(参考) 自己資本 2023年10月期第1四半期 48,604百万円 2022年10月期 50,258百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年10月期		0.00		20.00	20.00
2023年10月期					
2023年10月期(予想)		0.00		20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年10月期の連結業績予想(2022年11月1日～2023年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	209,000	14.2	3,000		3,100	26.2	1,100	47.7	27.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年10月期1Q	41,399,600 株	2022年10月期	41,399,600 株
期末自己株式数	2023年10月期1Q	1,660,277 株	2022年10月期	1,655,857 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年10月期1Q	39,740,342 株	2022年10月期1Q	39,655,017 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。また、業績予想の前提条件その他関連する事項につきましてはP2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(セグメント情報)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2022年11月1日から2023年1月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大により経済活動の停滞が続くなか、エネルギー価格の上昇や円安に伴う物価上昇など、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、2022年11月に感染拡大が始まった新型コロナウイルス感染症第8波により2023年1月下旬まで特に郊外店舗の人流が減少するなどの影響がみられました。また、食料品や光熱費の急激な上昇による節約志向の高まりから外食機会の減少がみられるなど厳しい状況が続きました。

このような状況のもと、当社グループは、お客様に安心・安全にお食事いただけるような様々な取り組みを行ってまいりました。会話による飛沫などの菌やウイルスからお寿司を守る当社特許取得済みの抗菌寿司カバー『鮮度くん』を導入し、セルフ会計やセルフレジを備えた「スマートくら寿司」を国内全店に配置いたしております。これらの投資により回転レーンにはカバーで守られた様々なお寿司が流れ、注文品は目の前の高さにあるオーダーレーンに高速で提供されるという、安心・安全を担保したうえで当社の目指す回転寿司本来の手軽さと楽しさを提供してまいりました。

また、2022年11月には非接触型サービス「スマートくら寿司」や漁業創生を目指す「KURAおさかなファーム」の取り組みなどが総合的に評価され、農林水産省の「日本サービス大賞」に選定されました。

店舗開発につきましては、国内9店舗、米国2店舗の計11店舗を出店いたしました。この結果、当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、全て直営で625店舗(「無添蔵」4店舗、「くら天然魚市場」1店舗、米国42店舗、台湾48店舗を含む)となりました。

① 日本

売上高410億20百万円(前年同期比3.8%増)、経常損失7億46百万円となりました。2022年11月～2023年1月の新型コロナウイルス感染症第8波の影響による人流の減少の影響を受けたものの、アフターコロナの需要獲得のため、「かに」「うに」など人気の高い商品を中心としたフェアを展開、人気アニメ「SPY×FAMILY」のグッズが当たるキャンペーンの実施、また、積極的なTVコマーシャルの投入を行った結果、前年同期を上回る売上高となりました。

一方、円安に伴う原材料やエネルギー価格が大幅に上昇したほか、人件費の上昇に加え、資材費や運搬費など様々なコストアップが発生しており、それらに対応するため、2022年10月に1皿110円(税込)の商品を115円(税込)、一部の220円(税込)商品を165円(税込)に変更するなど、多様なニーズに対応するための価格改定を実施。メニューミックスも含め改善を重ねております。また、コロナ禍以降の積極的な都心部等への出店や前期に設置完了した「スマートくら寿司」への投資により減価償却費が増加いたしました。今後は、入国制限の緩和拡大によるインバウンド需要の回復も想定しており、投資効果につなげてまいります。

② 北米

米国子会社 Kura Sushi USA, Inc. (KSU) におきましては、売上高56億71百万円(前年同期比69.0%増)、経常損失2億99百万円となりました。継続的な新規出店と堅調な米国経済を背景に好調な売上高となりました。反面、40年ぶりに高い消費者物価上昇率を記録するなど、物価や賃金のインフレにより収益が圧迫されました。2022年11月には全米最大級のショッピングモール「モール・オブ・アメリカ」に出店いたしました。日米のマスコミに紹介されるなど注目を集め、連日ウェイティングが数時間待ちになるなど好スタートを切っております。好調な売上を背景に、同期間の店舗段階での収益は過去最高となりました。

③ アジア

台湾子会社 亞洲藏壽司股份有限公司 (KSA) におきましては、売上高46億円(前年同期比28.8%増)、経常利益は3億3百万円となりました。新型コロナウイルス感染症にかかる影響はほぼ無くなり、消費の回復傾向から売上高は順調に推移いたしました。また、2022年12月10日には台湾への入境者数制限も撤廃され、観光産業、飲食業に力強い追い風となりました。2022年10月には人気アニメ「ちびまる子ちゃん」とタイアップし、「ビックラボン！」の景品にキャラクターアイテムとして採用するなど、お客様に大変ご好評をいただきました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高512億92百万円、営業損失6億71百万円、経常損失7億42百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失は6億24百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産総額は、1,093億7百万円となり、前連結会計年度末と比較して3億14百万円減少いたしました。これは、主に現金及び預金が23億86百万円減少した一方で、売掛金が5億27百万円、有形固定資産が10億8百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して14億11百万円増加し、520億66百万円となりました。これは、主に買掛金が8億50百万円増加したこと等によるものであります。

純資産につきましては、主に親会社株主に帰属する四半期純損失6億24百万円を計上し、配当金の支払い7億94百万円を行ったこと等により、前連結会計年度末と比較して17億25百万円減少し、572億41百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年12月12日に公表いたしました業績予想につきまして、現在のところ変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,169	10,782
売掛金	4,642	5,169
原材料及び貯蔵品	2,410	2,409
その他	2,895	3,215
流動資産合計	23,118	21,577
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	31,321	31,988
使用権資産(純額)	20,690	20,529
その他(純額)	20,257	20,761
有形固定資産合計	72,269	73,278
無形固定資産	1,251	1,381
投資その他の資産		
長期貸付金	4,687	4,787
差入保証金	6,710	6,789
その他	1,583	1,492
投資その他の資産合計	12,982	13,069
固定資産合計	86,503	87,730
資産合計	109,621	109,307
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,609	7,460
短期借入金	—	432
未払金	7,566	7,692
未払法人税等	587	502
その他	7,798	7,881
流動負債合計	22,561	23,969
固定負債		
リース債務	24,196	24,257
資産除去債務	2,731	2,760
その他	1,164	1,078
固定負債合計	28,092	28,097
負債合計	50,654	52,066
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,005	2,005
資本剰余金	7,814	7,814
利益剰余金	40,265	38,807
自己株式	△2,020	△2,020
株主資本合計	48,064	46,606
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	2,193	1,997
その他の包括利益累計額合計	2,193	1,997
新株予約権	787	879
非支配株主持分	7,921	7,757
純資産合計	58,967	57,241
負債純資産合計	109,621	109,307

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年1月31日)
売上高	46,452	51,292
売上原価	21,271	23,536
売上総利益	25,180	27,756
販売費及び一般管理費	24,492	28,427
営業利益又は営業損失(△)	687	△671
営業外収益		
受取利息	13	25
受取手数料	41	39
雑収入	30	23
為替差益	19	—
助成金収入	1,917	9
営業外収益合計	2,022	98
営業外費用		
支払利息	50	60
為替差損	—	106
雑損失	3	2
営業外費用合計	54	169
経常利益又は経常損失(△)	2,656	△742
特別損失		
固定資産除却損	11	16
特別損失合計	11	16
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	2,644	△759
法人税、住民税及び事業税	676	121
法人税等調整額	235	△191
法人税等合計	912	△70
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,732	△688
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	24	△64
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,708	△624

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年1月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,732	△688
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	505	△284
その他の包括利益合計	505	△284
四半期包括利益	2,238	△972
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,001	△820
非支配株主に係る四半期包括利益	237	△152

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年11月1日至2022年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	日本	北米	アジア	計	
売上高					
顧客との契約から生 じる収益	39,524	3,355	3,573	46,452	46,452
外部顧客への売上高	39,524	3,355	3,573	46,452	46,452
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	39,524	3,355	3,573	46,452	46,452
セグメント利益又は 損失(△)	2,439	△142	359	2,656	2,656

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益又は経常損失と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2022年11月1日至2023年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	日本	北米	アジア	計	
売上高					
顧客との契約から生 じる収益	41,020	5,671	4,600	51,292	51,292
外部顧客への売上高	41,020	5,671	4,600	51,292	51,292
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	41,020	5,671	4,600	51,292	51,292
セグメント利益又は 損失(△)	△746	△299	303	△742	△742

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益又は経常損失と一致しております。